

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

勝幡駅周辺地区

平成26年11月

愛知県愛西市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	鉄道駅の利便性	人/日	4,639	4,800	4,158	確定	×	あり	4,272	H25年度	△	本指標は、駅前広場を中心とした公共空間の一体的整備によって、人が集い・交流できる拠点の形成とにぎわい創出の状況を図るものであるが、確定値の計測時期は多くの事業が完了しておらず、また、工事による規制等により、駅利用者にとって不便な状況となっていたことから、達成に至らなかったものと考えられる。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	勝幡駅北側において、(都)勝幡停車場線、駐輪場、公衆便所等を含めた駅前広場や地下横断道等の整備事業が実施されたほか、駅南側において、勝幡駅南交通広場等が整備されたことにより、勝幡駅周辺の利便性が向上したものと考える。 しかし、駅利用者を計測した平成25年度時点では、多くの事業が進捗中であったため、整備効果が発現しておらず、目標値の達成には至らなかったものと考えられる。 なお、平成24年度と比較すると、1日当たりの乗降客数は増加傾向に転じていることから、徐々に事業効果が発現し、駅利用者数の増加に繋がっているものと考えられる。
指標2	宅地化の促進	%	10.3	8.0	7.7	確定	○	あり	—	—	—	—	—	(都)勝幡停車場線、駐輪場、公衆便所等を含めた駅前広場や地下横断道等が整備されたほか、駅周辺の市道、雨水排水対策、下水道が整備され、計画区域内の住環境の改善が図られたことにより、住宅地としての土地利用の転換に繋がっているものと考えられる。
指標3	歩行者・自転車にやさしい道路整備への満足度	ポイント	2.18	2.39	2.21	確定	△	あり	2.34	H26年5月	△	—	—	(都)勝幡停車場線、駅周辺の市道、駐輪場、公衆便所等を含めた駅前広場や地下横断道等、勝幡駅周辺において事業が進捗し、歩行者・自転車の安心・安全な交通環境の形成が図られた。また、防犯カメラ等の設置により、勝幡駅周辺の安全性が向上した。さらに、勝幡駅南交通広場、夜間照明が整備され、南北の一体的な安全性の向上が図られた。 目標値の達成には至っていないものの、平成19年度から25年度の数値の上昇幅と比較すると、事後評価後の1年間で大幅に上昇していることから、施設の供用開始により、事業効果が発現し、地域住民が求める歩行者・自転車の安心・安全な移動空間づくりに関する状況は改善しているものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	勝幡駅の利便性に対する満足度	ポイント	2.27	/	3.86	確定	/	/	—	—	/	—	—	(都)勝幡停車場線、駅周辺の市道、駐輪場、公衆便所等を含めた駅前広場や地下横断道等が整備されたほか、勝幡駅南交通広場等の整備が平成26年3月に完了することから、勝幡駅への自動車でのアクセス性、駅前広場での乗降の利便性、歩行者空間の安全性が向上し、勝幡駅周辺地区の住民の満足度の向上に繋がっているものと考えられる。
その他の数値指標2	歩行者・自転車にやさしい環境に対する満足度	ポイント	2.19	/	3.79	確定	/	/	—	—	/	—	—	(都)勝幡停車場線、駅周辺の市道、駐輪場、公衆便所等を含めた駅前広場や地下横断道等が整備されたほか、勝幡駅南交通広場、夜間照明等の整備が平成26年3月に完了することから、歩行者・自転車の通行に際して、安心・安全な交通環境の形成が図られ、勝幡駅周辺地区の住民の満足度の向上に繋がったものと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地域の見守り体制の維持	交通指導員、駐輪場整理員を継続して配置している。	通勤・通学時における、安心・安全な交通環境の創出に寄与している。	交通指導員、駐輪場整理員の配置体制を継続し、今後も駅周辺の安心・安全な交通環境を創出する。
	地域主体の取組みの支援	整備された勝幡駅周辺におけるイベントの開催に際しての協力を継続している。	平成24年から続くイベントが平成26年5月に開催された。当該イベントが地域の行事として根付きつつあり、地域の歴史・文化の伝承・発信とともに、にぎわいの創出に寄与している。	駅周辺におけるイベントの開催に際して、協力を継続する。また、駅周辺のにぎわいの創出、地域活動の活性化に寄与する取組み実施の機運が高まった際には、その活動に対する協力を検討する。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	駅前広場の有効活用	勝幡駅周辺整備による、駅へのアクセス性、乗降スペースの確保等の機能の向上を活かし、市が運行する巡回バスの乗り入れ検討及び運行ルートの見直しを行った。また、隣接する稲沢市の巡回バスの受け入れに向けた調整を行った。	平成26年4月より、愛西市が運行する巡回バスの勝幡駅北側駅前広場への乗り入れが開始されたほか、平成26年11月より、稲沢市福祉バスが乗り入れを開始しており、駅へのアクセス利便性の向上が図られた。	今後、企業バス等の乗り入れについて相談があった際には、逐次検討・調整を行い、勝幡駅利用者の増大を図る。
	歩行者・自転車にやさしい交通環境の形成	勝幡駅北側の仮設駐輪場を一定期間維持し、駅周辺の整備に伴う駐輪需要の変化を見極めている。	駅利用者が増加傾向にあることを一因として、駐輪需要が増大していることを把握した。	駐輪場の増設の検討を行うとともに、勝幡駅を中心として歩行者や自転車がアクセスしやすく、安全に利用することのできる交通ネットワークについて検討する。
	交通安全対策	本計画の担当課である都市計画課が窓口となり、地域住民等から提示される意見を受け付けている。	平成26年度において住民等から意見は提示されていない。	駅周辺の整備による交通流動の変化を注視しつつ、住民等からの交通安全に対する意見を聞き、交通事故抑制対策の実施の必要性を検討する。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項